

# 令和 7 年度 茨城県 土木部 公共事業等評価委員会

## 議事要旨

1 日 時 令和 7 年 12 月 1 日（月）10 時 30 分

2 場 所 茨城県庁舎 20 階 土木部会議室

3 出席者

委 員：山田稔委員長、岡本直久副委員長、横木裕宗委員（Web）

吉田友紀子委員、木内敏之委員、浜中本子委員

説明者：道路建設課技佐兼課長補佐（技術総括）ほか

事務局：土木部企画室長ほか

## 令和 7 年度公共事業評価対象事業について

質疑における発言等			
発言者	発言要旨	答弁者	発言要旨
地方道路整備事業 国道 294 号 常総拡幅			
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が 6 万 3 千台／日とのことだが、水戸周辺で同規模の交差点はどこか。</li> <li>・事業費の増額には、人件費、物価高も考慮しているのか。</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 6 号と 50 号の酒門町交差点が 8 万台程度。現在、立体化事業が国において進められている。</li> <li>・考慮している。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で使用している交通量の出典元はどこから。</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は、令和 3 年度道路交通センサスであり、完成は、センサスデータを基に推計している。</li> </ul>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体部分については、歩道や自転車道を整備するのか。</li> <li>・当該エリアについては水害があったエリアとなるが、対応は考えているか。6 万の交通量に対する配慮が必要では。</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道については、立体部分ではなく側道に整備する。自転車道の計画はない。</li> <li>・浸水想定エリアにあることは承知しているが、道路計画では、道路嵩上げ等を行わない。</li> <li>国による堤防整備、市による避難誘導等（道路規制等）により配慮している。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 294 号の守谷方面から国道 354 号のつくば方面への右折が多い。将来の信号現示については、その特性を踏まえて検討してほしい。</li> <li>・費用対効果は費用便益の他、数値化されないような効果も含まれるものである。資料 1 の記載を工夫すること。</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> <li>・承知した。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 294 号の線形決定理由は？</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認する。</li> </ul>
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中の交通容量は、どのように設定しているのか。</li> </ul>	道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中も片側 2 車線を確保し、現在と同じ交通容量を確保する。</li> </ul>